



地区の概況

- 磯子区の中央部に位置し、海側の工業地帯、国道16号沿いの平坦な市街地、京急沿線の丘陵住宅地という、特徴の異なる3つのエリアで構成されています。
- 磯子駅・屏風浦駅周辺にはマンションが多く、子育て世帯や若い単身者が多く暮らしています。一方、坂道や狭い道路が多い丘陵の戸建住宅地では、高齢化が進んでいます。
- 地域内には屏風ヶ浦地域ケアプラザ、特別養護老人ホーム、障害者施設等があり、日常的な交流を通じて地域とのつながりが保たれています。

人口等の特徴 人口:30,081人 世帯数:16,015世帯 令和2年からの人口増加率:1.0%(令和7年3月末現在)

人口は区内最大の地区です。年少人口・75歳以上人口・一人暮らし高齢者の割合はほぼ区平均です。人口は今後5年間で0.2ポイント増とほぼ横ばいですが、令和12年以降は減少に転ずると予測されます。

進めているよ! こんな取組

地区全体では

スイッチON推進委員会で「サロン梅の里」や「おでかけ梅の里」を実施しているほか、こどもや障害者とのポッチャ交流会が開催されています。



おでかけ梅の里

自治会町内会においては

それぞれが、夏祭り・ふれあいサロン・配食活動・餅つき大会・ラジオ体操・清掃活動等を実施し、身近な地域活動が活発に開催されています。



森浅間神社例大祭

学校圏域では

地域の安心・安全を高めるため、地域防災拠点で定期的に防災訓練が行われています。また、屏風浦小学校では毎年「ほっと・ナイト・夢まつり」が開催され、地区全体の交流やつながりづくりに大きく貢献しています。



ほっと・ナイト・夢まつり

地域の悩み・こんな町にしたい!

- 世代や新旧の住民、地域の福祉施設が自然に交流し、顔見知りになることが大切です。そのために、お祭りや茶話会、食事会、子育てサロン等、誰もが楽しく参加できる場をつくり、親睦を深めていきます。
- 日頃のあいさつや声かけで自然な見守りを行い、安心できる関係づくりを進めます。さらに、バンドナによる安否確認や在宅避難の備え、防犯パトロールを継続し、身近なところから助けあえる仕組みを地域みんなでつくっていきます。
- 環境美化やウォーキング、体操等の健康づくりに、誰もが気軽に参加しながら心身の健康をめざします。そのために、自治会町内会やシニアクラブ、子ども会、青少年指導員、スポーツ推進委員等が協力しあえる体制を整え、地域全体で元気なまちづくりを進めていきます。

第5期計画で力を入れたいこと

目標Ⅰ 住民同士が顔見知りになる取組をすすめます

普段からまちやマンション内で会ったときにあいさつを交わし、こどもから大人まで気軽に参加できる行事やイベントを通して顔見知りの関係を築いていきます。

具体的な取組

- お祭り ●餅つき ●クリスマス会
- 敬老会 ●茶話会 ●食事会
- 配食活動 ●高齢者サロン ●子育てサロン
- 入学卒業を祝う会 ●サロン梅の里



サロン梅の里

目標Ⅱ いざという時に助けあえる仕組みづくりをします

住民同士顔の見える関係づくりをもとに、戸建てやマンションなどの違いに応じた避難行動や安否確認の方法を考える機会を増やします。また、防災訓練においても小・中学校と地域で連携して行います。

具体的な取組

- 防災訓練 ●防犯パトロール
- バンドナの安否確認訓練



地域防災拠点訓練

目標Ⅲ みんなが地域づくりに関わるきっかけづくりに努めます

こども・子育て世代から高齢世代、障害のあるなしを超えて、誰もが楽しんでもできる地域づくりを自分事として担います。そのために、自治会町内会や小・中学校、様々な活動団体が連携協力して取り組みます。

具体的な取組

- 菜園作り ●花壇の手入れ
- 清掃活動などの環境美化活動
- いきいき体操 ●ラジオ体操 ●健康マージャン
- 歩く会 ●寄席 ●バス旅行
- ポッチャ・モルック等の心と体の健康づくり



ポッチャ交流会